

2016年6月11日

## 生き物を呼ぶ森づくり／松田町自然館との連携

神奈川県足柄上郡の松田町自然館と「どんぐりブラザーズ」(進和学園、パソボラサークル)が連携して、同館隣接の樹木園に「生き物を呼ぶ森づくり」を行うこととなりました。



松田町 自然館  
カブトムシの森づくり



自然館で育てている  
カブトムシの幼虫(サナギ)

2016年6月11日、近隣地域の親子連れはじめ約40名が集い第1回の植樹イベントを開催、渡邊建雄館長のご挨拶に続き、私共から「森づくりの話」をさせて頂いた後、皆で力を合わせてクヌギ、コナラ等の広葉樹45本を植えました。今後、カブトムシが生息できる雑木林を育むと共に「その土地本来の木」による自然の森の再生に取り組めます。

私達は、どんぐりや木の実から苗木を栽培していますが、植樹地の確保が一番の課題と言えます。多くの方々からのご寄附による進和学園「いのちの森づくり友の会」基金を活用して、苗木の提供先を探していますが、松田町・自然館のご理解ご協力により、絶好の植樹機会に恵まれたことに感謝申し上げます。緑化を通じた環境保全、自然や生き物との触れ合いによる子供達の情操教育、森づくりに励む障害のある方々の就労支援・・・と意義深い取り組みが叶いましたことを嬉しく思います。

神奈川県西部地域の郷土日刊紙「神静日報」に、本イベントに関する記事が掲載されました。  
⇒ [神静民報「カブトムシの森づくり／進和学園が苗提供 障害者の仕事の場」\(2016.6.12\)](#)